

レインボーなは宣言 祝5年



市では、2015年7月に開催されたプライドイベント「ピンクドット沖縄」で「性の多様性を尊重する都市・なは」宣言を発表しました。

宣言後、市では、「パートナーシップ登録」の開始、シンポジウムやセクシュアリティに関する講座の開催、相談室「ダイヤルうない」での性の多様性に関する相談窓口の開設、レインボー交流会への支援など、さまざまな取り組みを進めています。

また、第4次那覇市男女共同参画計画(なは男女平等推進プラン)において、基本目標2では、「性に関するあらゆる差別や偏見をなくし、一人ひとりが多様な生き方を柔軟に選べ、それを認め合うことのできる社会」をめざし、具体的施策を進めています。

*基本目標2「多様な性を尊重する社会づくり」の詳細は次頁に掲載しています。

2016年4月

琉球大学法務研究科(0-スクール)と、性の多様性の尊重につき連携・協力していく協定を締結

★市営住宅の入居に際して、親族要件に含まれるようになった。

2016年7月

「那覇市パートナーシップ登録」開始

★那覇市職員厚生会(福利厚生)の結婚祝金の受給が可能となった。

2017年

市教育委員会が、「学校におけるLGBTへの配慮に関する指針」を作成

★2018年度から、市内公立小中学校(53校)で、男女混合名簿を導入。

「性の多様性を尊重する都市・なは」宣言
(レインボーなは宣言)

人がどのような性を生きるか、また、誰を愛し・愛さないかは、すべての人が幸福に生きるために生まれながらにして持っている権利、すなわち人権であり、誰もがその多様な生き方を尊重されなければなりません。

那覇市は、市民と協働し、性自認及び性的指向など、性に関するあらゆる差別や偏見をなくし、誰もが安心して暮らせる都市をめざして、ここに『性の多様性を尊重する都市・なは』を宣言します。

平成27年7月19日
那覇市



◀市役所の正面エントランスに大きなレインボーフラッグ



▲市庁舎の「だれでもトイレ」にステッカーを貼っています



*1
「ピンクドット沖縄」
とは?

「LGBTなど性的マイノリティが生きやすい社会を」と願う人たちが、その思いをあらわすためにピンク色のものを身につけて集まるイベント。2013年に第1回が開催され、今年で第8回目となる。

新型コロナウイルス感染拡大防止へのご協力をお願い

感染防止のための学習室・交流室の利用方法について

密にならないための対策をお願いします。

- ・室内の換気の徹底、利用時間の制限(2時間)団体利用の制限(30人未満)*人数制限を行う場合もあります。
- ・体調不良者のご利用の自粛(発熱、のどの痛み、咳(せき)など風邪の症状が続いている、強いだるさ(倦怠感)息苦しさ(呼吸困難)等)*団体の代表者へ参加者の体調確認をお願いいたします。
- ・うがい、手洗い、手指消毒の徹底と飛沫感染対策として、マスクの着用、咳エチケットの徹底
- ・身体的距離の確保(2m以上)、対面での会話を避ける



感染症拡大防止に
ご協力ください



今後の状況により随時、変更の可能性もございます。最新の情報は市ホームページをご確認くださいようお願い申し上げます。

「第4次那覇市男女共同参画計画」 (なは男女平等推進プラン)



●誰もが社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動が確保され、もって誰もが均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益などを楽しむことができ、かつ、共に責任を担うという「男女共同参画社会」の実現をめざし、策定されました。

今回は、5つの基本目標から、「2、多様な性を尊重する社会づくり」について解説いたします。



第3回「ピンクドット沖縄」の舞台上、市長が「レインボーなは宣言」を発表しました！

① 「性の多様性を尊重する都市・なは」宣言(レインボーなは宣言)の理念の推進

なは女性センターでは、平成9年から、セクシュアリティに関する市民向けの講座を継続して開催し、プライド・イベントである『ピンクドット沖縄』の共催や、性の多様性に対する電話相談や市職員研修などを実施し、人権意識の啓発を推進してきました。

今後は『那覇市パートナーシップ登録』の周知を促進し、関係部署・機関と連携・協力して、相談専用窓口の設置に向けた調査・研究、事業者の意識啓発と求職者などに対する情報提供を行います。

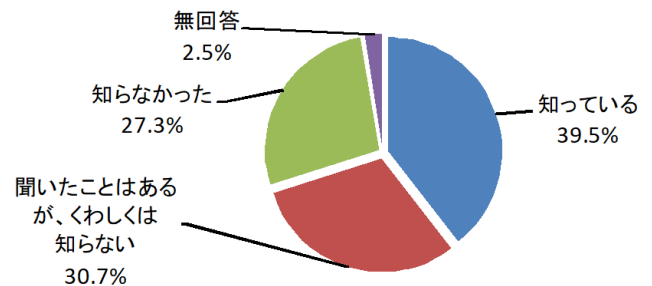
② 多様な性を尊重する人権意識の啓発

本市は、性の多様性の尊重につながる取組を進めていますが、未だに社会的認識や、理解は進んでいるとは言えず、様々な場面において差別や偏見が存在しています。

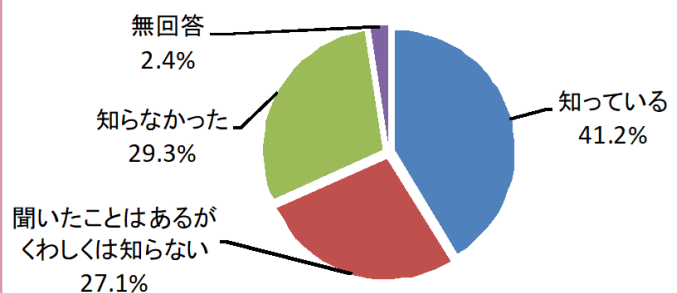
このような現状を変えるには、長い時間をかけて、正しい知識や情報を広く市民・事業者・市職員などに周知し、意識の醸成、理解促進を十分に図ることが必要となります。特に学校現場においては、児童生徒が相談しやすい体制の構築について働きかけます。



「レインボーなは宣言」の認知度



「那覇市パートナーシップ登録」制度の認知度



「平成29年度那覇市男女共同参画社会に関する市民意識調査」報告書より

③ 職場等におけるSOGIハラスメント等の根絶

「平成29年度那覇市男女共同参画社会に関する事業所意識調査」では、セクシュアル・ハラスメントについて、殆どの企業が認知していたにも関わらず、防止の取組は、47.8%の企業が「特に実施していない」と回答しています。法律の適用がない学校などにおいても、人権尊重意識の醸成に繋がる取組が求められています。SOGIハラスメントの周知、家庭や学校での人権教育、事業者への各種法令等の遵守を推進します。



SOGIとは？

性的指向 (Sexual Orientation)・性自認 (Gender Identity) の頭文字は、性的指向:「どのような性別を好きになるか、あるいはならないか」、性自認:「自分自身をどう性だと認識しているのか」という「状態」を指すため、すべての人を表します。



④ 性の多様性に配慮した環境整備

全ての人がそのセクシュアリティによって、つらい思いをしなくてすむよう、職場や学校的环境整備について実態を調査・検討し、学校を含めた市有施設の建設や修繕時には、配慮をしていきます。先進的な取組を行っている企業への支援につながる施策や評価制度等の導入を検討します。



⑤ 職場のダイバーシティ(多様性の受容)の推進

職場におけるダイバーシティの推進は、女性の活躍推進、男性を含めた働き方改革、若者や高齢者の活躍支援、バリアフリー社会の実現等といった、これまでの取組に加え、LGBT等を含む多様な性を生きる人等への対応等も含めた幅広い取組が求められます。

市内事業者へ関連法令や制度、先進的な企業の取組についての情報提供や、すでに取組を進めている優良企業への市の支援策を検討し、推進します。



小冊子、ポスターの配布、パネルの貸し出しをしています！

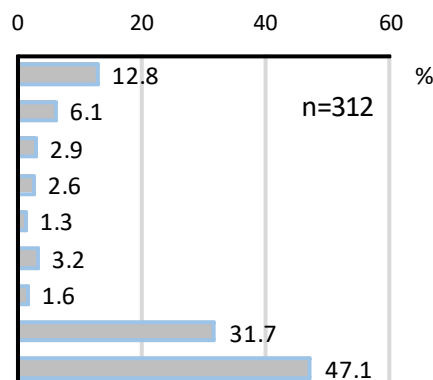
パネル貸出の方法については、なは女性センターへお問い合わせください。



事業所におけるLGBTを含む性的マイノリティに対する職場改善の取組み



社内規定などでのハラスメント対策
セミナー開催など社員意識改革
人事制度の改定(結婚・育児休暇、慶弔金など)
LGBTを含む性的マイノリティへの採用時の配慮
LGBTを含む性的マイノリティ関連イベントへの協賛
性別を問わないトイレ・休憩室の設置
その他
現在は何もしていないが、今後取り組みたい
取り組む予定はない



【平成29年度那覇市男女共同参画社会に関する事業所意識調査】より



★なは女性センターでは、女性問題やジェンダーに関する図書の貸し出し及び資料の閲覧ができます。

貸出し期間:2週間 お一人2冊まで

『ふたりママの家で』

パトリシア・ボラック 絵・文/中川 亜紀子 訳
サウザンブックス社 発行
263ページ/2018年10月29日発行



愛情たっぷりに注がれた3人の養子の子たち。長女の「わたし」が語る、ふたりの母親と人種の違う弟妹との家族としての日々。けして温かい味方ばかりでは無いけれど、「わからないものが怖い」と、相手へ理解をしめす寛容さも含めて、人生を謳歌する術を子どもたちへ受け継いでいきます。

『LGBTヒストリーブック』絶対に諦めなかった人々の100年の闘い
ジェローム・ポーレン 著/北丸 雄二 訳
サウザンブックス社 発行/191ページ/2018年6月22日発行



LGBTがプライドを持って生きるための書籍をクラウドファンディングで出版していくシリーズの第3弾としてPRIDE叢書から出版されました。原題は『Gay & Lesbian History for Kids』で、2015年にアメリカのカゴレビュー出版から子どもたちのために「わかりやすさ」「親しみやすさ」を意識して書かれています。

『総務部長はトランスジェンダー』 父として、女として

岡部 鈴 著/文芸春秋社 発行/226ページ/2018年6月22日発行

管理職であり、妻子もいる40代の著者が、女装への目覚めから、自身のSOGIを社内全メール送信でカミングアウトすることを選んだ。受け取った社長の「人生、一度きりなのだし、望むようにさせてやれよ」の言葉が温かくて深い。自分らしく生きたい人に勇気を与える告白的ノンフィクション。



相談室「ダイヤルうない」

周囲に話せる人がいない、自分の気持ちをわかってもらえない。そんな時、「ダイヤルうない」を利用してみませんか。生きがい、家庭の問題など、女性の抱える様々な相談に応じ、自分の意思で人生を選択するために情報提供し、サポートします。

- 電話相談
- 面接相談（女性のみ・要予約）
- 法律相談（女性のみ・予約制）

 **098-861-7515**

月～土 午前9時～12時／午後1時～5時

「ストップ・DV」 情報提供



相談室「ダイヤルうない」では、ドメスティック・バイオレンス（DV）で悩む方を支援するための情報提供を行っています。詳しくは相談室「ダイヤルうない」へお問い合わせください。



性の多様性に関する相談

あなたが「自分らしい人生」を自らの意思で選択できるように、一緒に考えます。どなたでもご相談ください。

「那覇市パートナーシップ登録」

「パートナーシップ登録」は、戸籍上の性別が同じである2人の申請に基づき、市長が両者をパートナーシップ関係にあると認めた場合、その関係について登録簿へ登録し、証明書を交付するものです。

■那覇市が「性の多様性を尊重する都市・なは」宣言の理念に基づき取り組む制度です。登録によって何らかの法律上の効果（婚姻、相続、税金の控除など）が生じるものではありません。

■お問い合わせ・申請の予約■

098-951-3203

◆月～金：午前9時～午後5時

* 祝日、慰霊の日(6/23)年末年始を除く

登録数 **30 組**

2020年7月15日現在



レインボー交流会のお知らせ

「レインボー交流会」を開催しています。
皆さんのご参加をお待ちしています！

開催日時：2020年9月12日（土）14時～16時

主催：ていーだあみ

問合せ先：tiidaami.okinawa@gmail.com

レインボーなは宣言※1を受けて「交流の場がほしい」「当事者と知り合いたい」「性の多様性について語りたい」といった声から生まれた、誰でも参加できる交流会です。みんなが安心して語り合える場所作りを目指します。

※1 レインボーなは宣言とは…平成27年に発表した『性の多様性を尊重する都市・なは』宣言の通称です。



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、体調不良時の参加自粛、手指消毒の徹底と飛沫感染対策として、マスクの着用などへのご協力をお願いします。

なお、参加者は、コロナ対策の一環で主催者へ連絡先（メールアドレスや電話番号など）をお伝えいただけます（匿名可）。

お問い合わせ なは女性センター TEL:098-951-3203

開館時間

休館日

月～金：午前9時～午後9時

年末年始（12/29～1/3）

土曜日：午前9時～午後5時

日曜日・祝日・慰霊の日(6/23)

駐車場のご利用について

「なは市民協働プラザ」の地下駐車場と消防局隣の「ナハメカルパーキング」は**有料**となっています。料金の一部免除ができますので「駐車券」を事務室にお持ちください。

☆なは女性センター利用者の一部免除料金

最初の2時間まで	100円
最初の2時間を超え1時間までごとに	100円

※利用時間に1時間に満たない端数があるときは、その端数を1時間として計算する。



メール



ホームページ



Facebook



- ゆいレール「古島駅」から徒歩7分・「おもろまち駅」から徒歩20分
- 路線バス ★なは市民協働プラザ前バス停 IO 牧志新都心線
★銘苅一丁目バス停 8首里城下町線 徒歩3分
【国道330号側】★興南高校前バス停 ★真嘉比バス停 徒歩7分
【県道82号側】★古島バス停 徒歩7分

